

2014年2月14日  
ライフネット生命保険株式会社

## 2013年度第3四半期報告

ライフネット生命（代表取締役社長兼COO 岩瀬大輔）の2013年度第3四半期（4月1日～12月31日）の業績は添付のとおりです。

### <目次>

1. 主要業績	……1頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……2頁
3. 四半期貸借対照表	……5頁
4. 四半期損益計算書	……6頁
5. 四半期キャッシュ・フロー計算書	……7頁
6. 経常利益等の明細（基礎利益）	……9頁
7. ソルベンシー・マージン比率	……10頁
8. 特別勘定の状況	……11頁
9. 保険会社及びその子会社等の状況	……11頁
（参考）証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況	……12頁

以上

## 1. 主要業績

### (1) 保有契約高及び新契約高

保有契約高

(単位：件、百万円、%)

区 分	2012 年度末		2013 年度第 3 四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数		金 額	
				前年度末比		前年度末比
個 人 保 険	169,312	1,480,395	197,097	116.4	1,660,682	112.2
個人年金保険	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

新契約高

(単位：件、百万円、%)

区 分	2012 年度第 3 四半期累計期間				2013 年度第 3 四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数		金 額			
		新契約	転換による 純増加		前年 同期比	前年 同期比	新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	44,485	338,363	338,363	—	36,981	83.1	245,572	72.6	245,572	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 個人保険の件数は主契約の件数であり、第三分野保険（医療保障・生前給付保障等）を含みます。

2. 個人保険の金額は死亡保障額の合計であり、第三分野保険の保障額を含みません。

### (2) 年換算保険料

保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2012 年度末	2013 年度	
		第 3 四半期会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	6,875	7,853	114.2
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	6,875	7,853	114.2
うち医療保障・生前給付保障等	2,992	3,504	117.1

新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2012 年度 第 3 四半期累計期間	2013 年度	
		第 3 四半期累計期間	前年同期比
個 人 保 険	1,804	1,352	74.9
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	1,804	1,352	74.9
うち医療保障・生前給付保障等	895	712	79.6

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたり保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です。

2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（就業不能給付）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

## 2. 資産運用の実績（一般勘定）

### (1) 資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2012 年度末		2013 年度 第 3 四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現預金・コールローン	353	1.7	459	2.2
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	1,000	4.8
有 価 証 券	13,488	66.0	13,563	65.0
公 社 債	13,314	65.1	12,593	60.3
株 式	174	0.9	205	1.0
外 国 証 券	—	—	764	3.7
公 社 債	—	—	—	—
株 式 等	—	—	764	3.7
そ の 他 の 証 券	—	—	—	—
貸 付 金	—	—	—	—
不 動 産	21	0.1	16	0.1
繰 延 税 金 資 産	—	—	—	—
そ の 他	6,587	32.2	5,839	28.0
貸 倒 引 当 金	—	—	—	—
合 計	20,450	100.0	20,879	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	—	—	764	3.7

（注）「不動産」については建物を計上しております。

## (2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区 分	2012年度末					2013年度第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	8,007	8,028	20	21	0	7,000	6,973	△27	14	41
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	5,393	5,480	86	92	5	5,676	5,798	122	123	1
公 社 債	5,293	5,306	13	18	5	5,575	5,593	17	18	1
株 式	100	174	73	73	—	100	205	105	105	—
外国証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	13,401	13,509	107	113	5	12,676	12,771	95	138	42
公 社 債	13,300	13,335	34	39	5	12,576	12,566	△9	33	42
株 式	100	174	73	73	—	100	205	105	105	—
外国証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	2012年度末	2013年度 第3四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
そ の 他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	—	764
その他の有価証券	—	—
非上場国内株式 (店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国株式 (店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国債券	—	—
そ の 他	—	—
合 計	—	764

## (3) 金銭の信託の時価情報

(単位：百万円)

区 分	2012 年度末					2013 年度第 3 四半期会計期間末				
	貸借対照表 計上額	時 価	差 損 益			貸借対照表 計上額	時 価	差 損 益		
			差益	差損	差益			差損		
金銭の信託	—	—	—	—	—	1,000	1,000	—	—	—

- ・ 運用目的の金銭の信託  
該当事項はありません。

- ・ 満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

(単位：百万円)

区 分	2012 年度末					2013 年度第 3 四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差益	差損	差益			差損		
満期保有目的の 金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
責任準備金対応の 金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他 の 金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	1,000	1,000	0	0	—

### 3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	2012 年度末 要約貸借対照表 (2013 年 3 月 31 日現在)	2013 年度 第 3 四半期会計期間末 (2013 年 12 月 31 日現在)
		金 額	金 額
( 資 産 の 部 )			
現 金 及 び 預 貯 金		353	459
金 銭 の 信 託		—	1,000
有 価 証 券		13,488	13,563
国 債		7,331	6,044
社 債		5,982	6,548
株 式		174	205
外 国 証 券		—	764
有 形 固 定 資 産		97	96
無 形 固 定 資 産		590	562
代 理 店 貸 貸		0	0
再 保 険 貸 貸		13	4
そ の 他 資 産		5,907	5,192
未 収 金		498	576
保 険 業 法 第 113 条 繰 延 資 産		5,300	4,505
そ の 他 の 資 産		108	109
資 産 の 部 合 計		20,450	20,879

( 負 債 の 部 )			
保 険 契 約 準 備 金		3,544	5,712
支 払 備 金		265	301
責 任 準 備 金		3,278	5,410
代 理 店 借 借		3	4
再 保 険 借 借		15	18
そ の 他 負 債		493	276
特 別 法 上 の 準 備 金		3	5
価 格 変 動 準 備 金		3	5
繰 延 税 金 負 債		318	297
負 債 の 部 合 計		4,379	6,314
( 純 資 産 の 部 )			
資 本 金		10,484	10,500
資 本 剰 余 金		10,484	10,500
利 益 剰 余 金		△4,978	△6,540
株 主 資 本 合 計		15,990	14,460
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		60	84
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		60	84
新 株 予 約 権		20	19
純 資 産 の 部 合 計		16,071	14,564
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		20,450	20,879

#### 4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	2012 年度 第 3 四半期累計期間 〔 2012 年 4 月 1 日から 2012 年 12 月 31 日まで 〕	2013 年度 第 3 四半期累計期間 〔 2013 年 4 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日まで 〕
		金 額	金 額
経 常 収 益		4,348	5,607
保 険 料 等 収 入		4,260	5,559
保 険 料		4,234	5,531
再 保 険 収 入		26	28
資 産 運 用 収 益		37	41
利 息 及 び 配 当 金 等 収 入		37	41
金 銭 の 信 託 運 用 益		—	0
そ の 他 経 常 収 益		50	5
支 払 備 金 戻 入 額		43	—
そ の 他 の 経 常 収 益		6	5
経 常 費 用		4,063	7,184
保 険 金 等 支 払 金		361	889
保 険 金		151	528
給 付 金		171	309
再 保 険 料		39	52
そ の 他 返 戻 金		0	0
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		977	2,168
支 払 備 金 繰 入 額		—	36
責 任 準 備 金 繰 入 額		977	2,131
資 産 運 用 費 用		0	0
支 払 利 息		0	0
事 業 費		3,750	3,038
そ の 他 経 常 費 用		1,042	1,088
保 険 業 法 第 113 条 繰 延 額		△2,069	—
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 ( △ )		285	△1,577
特 別 損 失		0	12
減 損 損 失		—	10
特 別 法 上 の 準 備 金 繰 入 額		0	1
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		0	1
税 引 前 四 半 期 純 利 益 又 は 税 引 前 四 半 期 純 損 失 ( △ )		284	△1,590
法 人 税 及 び 住 民 税		2	2
法 人 税 等 調 整 額		105	△32
法 人 税 等 合 計		107	△29
四 半 期 純 利 益 又 は 四 半 期 純 損 失 ( △ )		176	△1,561

## 5. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	2012 年度 第 3 四半期累計期間 〔2012 年 4 月 1 日から 2012 年 12 月 31 日まで〕	2013 年度 第 3 四半期累計期間 〔2013 年 4 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日まで〕
	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	284	△1,590
減価償却費	169	148
減損損失	—	10
支払備金の増減額 (△は減少)	△43	36
責任準備金の増減額 (△は減少)	977	2,131
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	0	1
利息及び配当金等収入	△37	△41
支払利息	0	0
代理店貸の増減額 (△は増加)	△0	0
再保険貸の増減額 (△は増加)	△0	8
その他資産 (除く投資活動関連・財務活動関連) の増減額 (△は増加)	△1,522	714
代理店借の増減額 (△は減少)	0	0
再保険借の増減額 (△は減少)	3	3
その他負債 (除く投資活動関連・財務活動関連) の増減額 (△は減少)	△118	△136
その他	△19	0
小 計	△305	1,288
利息及び配当金等の受取額	108	89
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△3	△3
営業活動によるキャッシュ・フロー	△201	1,373
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
金銭の信託の増加による支出	—	△1,000
有価証券の取得による支出	△13,924	△13,207
有価証券の売却・償還による収入	14,300	13,120
資産運用活動計	375	△1,087
(営業活動及び資産運用活動計)	(174)	(286)
有形固定資産の取得による支出	△41	△44
無形固定資産の取得による支出	△187	△159
投資活動によるキャッシュ・フロー	147	△1,290
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	13	30
リース債務の返済による支出	△16	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3	24
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	△56	106
VI 現金及び現金同等物の期首残高	428	353
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	371	459

(注) キャッシュ・フロー計算書における現金及び現金同等物は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。



## 注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2013 年度第 3 四半期会計期間末	
1.	発行済株式の種類及び総数に関する事項 当第 3 四半期会計期間末の発行済株式 普通株式 42,175,000 株 なお、自己株式は保有しておりません。
2.	1 株当たり純資産 1 株当たり純資産の金額は、344 円 88 銭であります。
3.	記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てております。

## 注記事項

(四半期損益計算書関係)

2013 年度第 3 四半期累計期間	
1.	1 株当たり四半期純損失金額は、37 円 08 銭であります。
2.	記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てております。

## 6. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	2012 年度 第 3 四半期累計期間	2013 年度 第 3 四半期累計期間
基礎利益 A	485	△1,439
キャピタル収益	—	0
金銭の信託運用益	—	0
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	—	—
金融派生商品収益	—	—
為替差益	—	—
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	—	—
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	—	—
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	—	—
為替差損	—	—
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	—	0
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	485	△1,439
臨時収益	—	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	—	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	200	138
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	200	138
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△200	△138
経常利益又は経常損失（△） A+B+C	285	△1,577

（注） 2012 年度第 3 四半期累計期間の基礎利益には、保険業法第 113 条繰延額 2,069 百万円が含まれております。

## 7. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2012年度末	2013年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	11,790	11,226
資本金等	10,710	9,974
価格変動準備金	3	5
危険準備金	997	1,136
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合 100%)	78	110
土地の含み損益×85% (マイナスの場合 100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及 び負債性資本調達手段等のうち、マージンに 算入されない額	—	—
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
リスクの合計額	1,040	1,236
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)		
保険リスク相当額 $R_1$	887	995
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	102	132
予定利率リスク相当額 $R_2$	0	0
資産運用リスク相当額 $R_3$	175	381
最低保証リスク相当額 $R_7$	—	—
経営管理リスク相当額 $R_4$	34	45
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	2,266.0%	1,816.2%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

## 8. 特別勘定の状況

該当事項はありません。

## 9. 保険会社及びその子会社等の状況

2013年9月13日に、韓国の手生命保険会社である教保生命保険株式会社（本社：大韓民国ソウル市、会長：シン・チャンジェ）との間で、韓国においてインターネットを主な販売チャネルとする生命保険会社を設立することに関する合弁契約書を締結し、2013年9月27日に合弁会社である教保ライフプラネット生命保険株式会社を設立しました。当社は、教保ライフプラネット生命保険株式会社の株式を議決権比率ベースで34%取得し、関連会社としております。

## (参考) 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

ライフネット生命保険株式会社

金融安定化フォーラム (FSF) のガイドラインに示された開示例に基づき、2013 年 12 月末時点における証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況につき以下のとおり開示します。

### 1. 投資状況

- (1) 特別目的事業体 (SPEs) 一般
  - 特別目的事業体 (SPEs) 一般への投融資はありません。
- (2) 債務担保証券 (CDO)
  - 債務担保証券 (CDO) の取引・残高はありません。
- (3) その他のサブプライム・Alt-A エクスポージャー
  - その他のサブプライム・Alt-A へのエクスポージャーはありません。
- (4) 商業用不動産担保証券 (CMBS)
  - 商業用不動産担保証券 (CMBS) の取引・残高はありません。
- (5) レバレッジド・ファイナンス
  - レバレッジド・ファイナンスの取引・残高はありません。
- (6) その他
  - 上記 (1) ~ (5) 以外のヘッジファンド、CDS、RMBS、その他仕組債へのエクスポージャーはありません。

### 2. その他の関連情報

- 子会社等における、サブプライム・ローン関連商品への投資はありません。

用語解説	
SPE (Special Purpose Entity/特別目的事業体)	特定の資産を担保にした証券の発行など、限定された目的のために設立された事業体
CDO (Collateralized Debt Obligation/債務担保証券)	社債や貸付債権などから構成される資産を裏付け資産とする債務担保証券
サブプライム・ローン	米国の住宅ローンのうち、信用度の低い借り手向けのローン
Alt-A	借り手の信用力がプライムローン (米国住宅ローン市場における信用度の高い借り手向けの住宅ローン) とサブプライム・ローンの中間に位置する住宅ローン
CMBS (Commercial Mortgage-Backed Securities/商業用不動産担保証券)	商業用不動産ローンを裏付け資産として証券化した資産担保証券
レバレッジド・ファイナンス	企業の買収・合併の際に提供される、主として被買収企業のキャッシュ・フローに依拠したファイナンス
CDS (Credit Default Swap)	貸付債権や社債の信用リスクを売買するデリバティブ取引の一種
RMBS (Residential Mortgage-Backed Securities/住宅ローン担保証券)	住宅ローンを裏付け資産として証券化した資産担保証券

以上